

12月6日(土) le 6 décembre	11:00 絵の中の小さな人々 <i>Le Tableau</i> (75分／日本語字幕付) 13:00 森に生きる少年～カラスの日～ <i>Le Jour des Corneilles</i> (90分／日本語字幕付) 15:30 スタレヴィッヂによるラ・フォンテーヌの寓話 <i>Les Fables de Starewitch d'après La Fontaine</i> (87分／英語字幕付)
12月7日(日) le 7 décembre	11:00 冬のレオン <i>L'Hiver de Léon</i> (27分／日本語吹き替え版・VJ [●]) 春のメリー <i>Le Printemps de Mélie</i> (27分／日本語吹き替え版・VJ [●]) 13:00 絵の中の小さな人々 <i>Le Tableau</i> (75分／日本語字幕付) 15:30 森に生きる少年～カラスの日～ <i>Le Jour des Corneilles</i> (90分／日本語字幕付)
12月20日(土) le 20 décembre	11:00 スタレヴィッヂによるラ・フォンテーヌの寓話 <i>Les Fables de Starewitch d'après La Fontaine</i> (87分／英語字幕付) 13:30 冬のレオン <i>L'Hiver de Léon</i> (27分／無字幕・VF [●]) 春のメリー <i>Le Printemps de Mélie</i> (27分／無字幕・VF [●]) 15:30 夏のボニファシオ <i>L'Été de Boniface</i> (27分／日本語字幕付・VFSTJ [●]) 秋のブーニュ <i>L'Automne de Pougne</i> (27分／日本語字幕付・VFSTJ [●])
12月21日(日) le 21 décembre	11:00 森に生きる少年～カラスの日～ <i>Le Jour des Corneilles</i> (90分／日本語字幕付) 13:30 冬のレオン <i>L'Hiver de Léon</i> (27分／日本語吹き替え版・VJ [●]) 春のメリー <i>Le Printemps de Mélie</i> (27分／日本語吹き替え版・VJ [●]) 15:30 夏のボニファシオ <i>L'Été de Boniface</i> (27分／日本語字幕付・VFSTJ [●]) 秋のブーニュ <i>L'Automne de Pougne</i> (27分／日本語字幕付・VFSTJ [●])

CALENDRIER 上映スケジュール

- * プログラムは、都合により予告なく変更されることがあります。予めご了承ください。
- * 入場料金(当日券のみ)：一般 1,200円／学生 800円／会員・中学生以下 500円
- * チケット販売時間：各回上映1時間前より上映開始後20分まで。
- * 開場：各回20分前

会場・お問い合わせ アンスティチュ・フランセ東京

〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15

tel:03-5206-2500 fax:03-5206-2501

www.institutfrancais.jp/tokyo  www.facebook.com/IFJTokyo



「フランスアニメーション映画祭 2014」

主催：アンスティチュ・フランセ日本

協力：オフィスH、Folimage、アンスティチュ・フランセ・パリ本部、ユニフランス・フィルムズ

アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラム オフィシャル・パートナー：笹川日仏財団、アニエスペー



INSTITUT
FRANÇAIS

agnès b.



FESTIVAL DU FILM FRANÇAIS D'ANIMATION 2014

フランスアニメーション映画祭 2014

2014年12月6日(土)7日(日)／20日(土)21日(日)

会場：アンスティチュ・フランセ東京



表紙／裏表紙：「レオンとメリー」シリーズより

FESTIVAL DU FILM FRANÇAIS D'ANIMATION 2014

フランスアニメーション映画祭 2014

ヨーロッパのアニメ大国フランスのアニメ事情をお届けするフランスアニメーション映画祭。昨年初めて東京でも開催し、大変ご好評いただきました。今年も6-7月の横浜での開催に引き続き、アンスティチュ・フランセ東京では12月に開催いたします。

世界でも高く評価されるフランスアニメーションの魅力をこの機会に是非お楽しみください。



絵の中の小さな人々 *Le Tableau de Jean-François Laguionie*

2011年 / フランス / 75分 / DVD / 日本語字幕付

監督: ジャン=フランソワ・ラギオニ

城、花の咲きほこる庭園、そして不気味な森…ある画家が、未完成のまま残した謎の絵。この絵では、最後まで色がつけられた「トゥバン(完成画)」、いくつかの色が欠けている「バフィニ(未完成)」とスケッチの「ラフ(下絵)」という3人のキャラクターが暮らしているが、権力を振りかざすトゥバンが、バフィニを城から追い出し、ラフを虐げていた。画家が絵を完成させることだけが、この絵に調和をもたらすことができると思いついたラモ、ローラ、ブリュームの3人は、画家を探す旅に出るが、謎は深まるばかり…画家はどこに行ってしまったのか?なぜ、絵を途中で放り出てしまったのか?…彼らに画家の秘密を解き明かすことは出来るのだろうか?

ポール・グリモーのもとで制作を学び、カンヌ映画祭やセザール賞での受賞歴もあるジャン=フランソワ・ラギオニ監督による2011年の作品。



森に生きる少年～カラスの日～ *Le Jour des Corneilles de Jean-Christophe Dessaint*

2012年 / フランス / 90分 / Blu-ray / 日本語字幕付

監督: ジャン=クリストフ・デッサン 原作: ジャン=フランソワ・ボッシュマン

主人公は、人間界との交わりを絶て森の奥深くで暮らす父親に育てられた少年。動物と人間が融合した不思議な精霊たちに見守られ、少年は森の中で自由な生活を送っていた。だが、父親が足を大怪我した時、少年に大きな転機が訪れる。父親を病院に運ぶために山の麓の村を訪れた少年は、怪我が治るまでの間、これまで経験したことのない文明社会で暮らすことになる。見知らぬ世界で戸惑い、何かと周囲と諍いを起こす少年を唯一理解してくれたのは村の医師の娘マノンだった。やがて少年が山に戻る日が近づくが、それは同時に、これまで聞かされていなかった両親の隠された過去を知る時であった…。幻想的な自然界と現実的な社会の見事な対比の中、少年の成長が印象派絵画を思わせる美しい色彩の中で展開され、見る者に爽やかな感動を残す。アヌシー国際アニメーション映画祭でワールド・プレミア上映され、絶賛を受けた。



スタレヴィッヂによるラ・フォンテーヌの寓話

Les Fables de Starewitch d'après La Fontaine de Ladislas Starewitch

フランス / 87分 / DVD / 英語字幕付

監督: ラディスラフ・スタレヴィッヂ

ティム・バートンらに大きな影響を与えた、ストップモーション・アニメーションの先駆者の一人、ラディスラフ・スタレヴィッヂ。ロシアに生まれ、1920年代からフランスに居を移し、数々の傑作を生み出しました。1922年から1932年の間に作られたラ・フォンテーヌの寓話をもとにしたスタレヴィッヂの短編5作品と、スタレヴィッヂの作品を紹介するドキュメンタリーを上映します。

『ライオンとブヨ』 *Le Lion et le moucheron*, 1932

『町のネズミと田舎のネズミ』 *Le Rat de ville et le rat des champs*, 1926

『王が欲しかった蛙』 *Les Grenouilles qui demandent un roi*, 1922

『ありとりぎりす』 *La Cigale et la fourmi*, 1927

『年老いたライオン』 *Le Lion devenu vieux*, 1932

『人形アニメーションは、どのようにして生まれ、命を吹き込まれるのか?』

Comment naît et s'anime une ciné-marionnette, 1932

「レオンとメリー」シリーズ *Les Quatre saisons de Léon*

ハチミツ売りに育てられたクマの子・レオンと森の王国の王女メリーを主人公に、ヨーロッパの四季を彩る祭り、中世の民間伝承やコント(短い物語、寸劇)など、美しい図案をベースに現代社会に暮らす子どもを取り巻く家族関係を描いた冒険ファンタジー。子どもから青年へ、生みの親から育ての親へなどの“通過・移行”をテーマとした、脚本家アントワーヌ・ランショのオリジナル企画を、アニメーション作家グランジョンがバベットで仕上げました。フランスの全国ネットTVフランス3で2007年から放映されているシリーズで、日本でもNHK BSで放映され、大変好評を得ました。今回は全4シリーズのうち、前半2作をフランス語版と日本語吹き替え版にて、また後半2作を日本語字幕付で、本邦プレミア上映いたします。



冬のレオン *L'Hiver de Léon de Pierre-Luc Granjon et de Pascal Le Nôtre*

2007年 / フランス、カナダ / 27分 / フランス語版・VF :20日 / 日本語吹き替え版・VJ :7日、21日

監督: ピエール・リュック・グランジョン、パスカル・ルノートル

ヨーロッパの森に包まれた国々では、少女を食べるという、冬の守オーガが恐れられている。ハチミツ売りの夫婦に大切に育てられた、孤児レオンはクマである正体を悩んで家出す。オーガの風説を広める語り部のボニファシオはレオンを騙して見せ物にする。王女メリーはオーガ退治を宣言するが、オーガに捉えられる。レオンは、吹雪の中、見せ物にされていたゾウと金のリンゴを持つハリネズミと一緒にメリーを助けに行く。メリーと結婚し王国を乗っ取ろうとするボニファシオが、レオンの前に立ちふさがる…。



春のメリー *Le Printemps de Mélie de Pierre-Luc Granjon*

2009年 / フランス、カナダ / 27分 / フランス語版・VF :20日 / 日本語吹き替え版・VJ :7日、21日

監督: ピエール・リュック・グランジョン

厳しい冬の終わりを告げる花祭りでは、ハニーケーキに入った幸運のコインを当てた少女が花の女王となり、祭りの王を指名する。バルタザールヴィルの王女メリーが、今年の花の女王となり、ハチミツ売りの夫婦に育てられたクマの子レオンを王にしようとする。メリーと結婚したい、語り部のボニファシオは自分こそが祭りの王と悪巧みを図り、街の人たちやメリーの父王が病気になる。メリーはハリネズミのメロディーと共に病気治療に必要な花を求めて旅に出る。レオン、ゾウのハンニバル、ハリネズミのヘリソンはメリーたちを助けようと、ボニファシオに立ち向かう…。



夏のボニファシオ *L'Eté de Boniface de Pierre-Luc Granjon et de Antoine Lanciaux*

2011年 / フランス、カナダ / 27分 / 日本語字幕付・VFSTJ

監督: ピエール・リュック・グランジョン、アントワーヌ・ランショ

「レオンとメリー」シリーズの3話目。中世のヨーロッパ、小さな王国エスカンベットで、語り部ボニファシオはエロイーズ王妃とのラブストーリーを紡いでいた。ボニファシオが王妃にプロポーズしようとした頃、王妃の娘でバルタザールヴィルの王女メリーが夏休みを利用して、親友レオンたちといっしょにやってくる。王妃の忠告を聞かず、無邪気なメリーたちは湖の畔にキャンプを張る。そこは神聖な山の麓だった…。



秋のプーニュ *L'Automne de Pougne de Pierre-Luc Granjon et de Antoine Lanciaux*

2012年 / フランス、カナダ / 27分 / 日本語字幕付・VFSTJ

監督: ピエール・リュック・グランジョン、アントワーヌ・ランショ

中世のヨーロッパ、バルタザールヴィル王国。ある時不思議なことに、王国にある本から物語がすっかり消えて、語り部ボニファシオも姿を消す。王様は死ぬほど退屈で、国民はひどく落ち込む。「ボニファシオの悪さに違いない」と、レオンの相棒、不平屋ハリネズミのプーニュが言い出す。ボニファシオと物語はどこへ消えたのか…。ハチミツ売りの夫婦に育てられた、クマの子レオンの出生の秘密が明かされる、人気シリーズ「レオンとメリー」の最終話。アヌシー国際アニメーション映画祭2013年最優秀テレビアニメーション(シリーズ外)賞受賞。